

応用製剤例

乳液

ペリセアの機能

| | |
|---|-----------|
| ◎ | スキンケア機能 |
| | ヘアケア機能 |
| | オイルゲル形成機能 |
| ◎ | 乳化分散能 |

特長

- ・ ペリセアの乳化機能とスキンケア機能を同時に応用した乳液・クリームが処方できます。
- ・ ペリセアの乳化機能の特長は以下のとおりです。
 - －ペリセア固形分0.03%で20%の油を乳化できます。
 - －ペリセア単独で様々な油を乳化できます。他の乳化剤との併用も可能です。
 - －コールドプロセスでの乳化が可能です。
 - －固形油の乳化が可能です。
 - －高級アルコールとの併用で液晶を形成します。
 - －1価の塩類との併用が可能です。
 - －ノニオン系乳化剤のようなベタツキ感がなく、使用感に優れます。
- ・ スキンケア効果も得られます。

効果

- ・ スキンケア成分で乳化ができます。
- ・ ノニオン系乳化剤のようなベタツキ感がないため、さっぱり系からしっとり系まで幅広い処方が可能です。
- ・ 極めて少量で乳化できるため、ノニオン系乳化剤に比べ、乳化コストを低減できます。
- ・ ペリセア単独でもクリームを乳化安定させることができますが、乳化助剤として使用することで、ノニオン活性剤処方の安定性改善も可能です。

推奨グレード・推奨配合量

- ・ ペリセアLB-10 0.3%～1.0%
 - ・ ペリセアL-30 0.1%～0.3%
- ペリセア固形分として0.03%～0.1%

ペリセアのグレードラインナップ

| 品名 | ペリセアLB-10 | ペリセアL-30 |
|------|--|---------------------------------|
| 表示名称 | ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (10%)、BG (10%)、水 (80%) | ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (29%)、水 (71%) |
| 荷姿 | 18kg缶 | 1kg缶、18kg缶 |

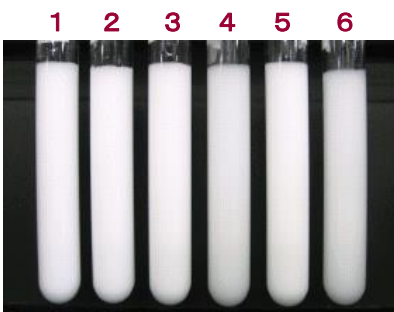
処方上の注意点

- ・ ペリセアは塩類ですので、カルボマー等の増粘剤を併用される場合は、耐塩性グレードを推奨します。耐塩性グレード以外では粘度低下を起こす可能性があります。
- ・ 1価の塩との併用は可能ですが、2価の塩を併用すると乳化安定性が低下する可能性があります。

代表的な関連データ

ペリセアは固形分 0.03%という低濃度で、各種油に乳化能を示します。 組成

AsahiKASEI



- 1: パルミチン酸エチルヘキシル
- 2: オリーブオイル
- 3: ミネラルオイル (5.8~8.9 mm²/S)
- 4: シクロメチコン
- 5: トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル
- 6: ジメチコン (6 mm²/S)

| 成分 | Wt% |
|-------------------|---------------|
| ペリセアL-30 (固形分) | 0.1 (0.03) |
| 油 | 20 |
| カルボマー(カーボポール 981) | 0.2 |
| 30w/v% NaOH水溶液 | 適量 |
| 水 | 残部 |

手順: 1.カルボマーを水に溶解させる。 2.カルボマー水溶液をNaOH水溶液でpH 7に調整する。 3.ペリセアと油を加える。
4.室温で5分間、ホモミキサー(6000rpm)を用いて乳化する。

処方例

ペリセアを乳化剤として使用した乳液処方です。乳化剤はペリセアのみです。しっとりしながらべたつきの少ない、使用感の良い処方です。また、浸透感も感じられます。

乳液処方P004 (骨格処方)

pH: 6~7 粘度: 500~1000 (ローターNo.4 60rpm 1分間測定)

| | 原料名 | メーカー | 表示名称 | 配合% |
|----|-------------|----------|------------------------|------|
| A相 | オリーブスクワラン | 日光ケミカルズ* | スクワラン | 5 |
| | NIKKOL CIO | 日光ケミカルズ* | エチルヘキサン酸セチル | 6.5 |
| B相 | 化粧品用濃グリセリン | 花王 | グリセリン | 3 |
| | 1,3-BG | 和光純薬 | BG | 2 |
| | 2%カーボポール981 | CBC | カルボマー、水 | 5 |
| | 精製水 | | 水 | 71.5 |
| | ソルビトール花王 | 花王 | ソルビトール、水 | 1 |
| | ペリセアLB-10 | 旭化成 | ジラウロイルグルタミン酸リシンNa、BG、水 | 1 |
| C相 | 50%水酸化ナトリウム | 和光純薬 | 水酸化Na、水 | 0.08 |
| | 精製水 | | 水 | 4.92 |

調製方法: A相とB相を80℃までに、それぞれを攪拌混合した後、80℃でホモミキサー(5000rpm)で攪拌しながらB相にA相をゆっくり添加する。全て添加したら80℃のまま、5分間攪拌を続ける。その後、攪拌しながら冷却を行う。50℃になったらC相を添加し常温になるまで攪拌を続ける。(6000rpmだと泡立ちが激しいので注意)

備考: ノニオン系活性剤で乳化した処方(下記処方)でノニオン系活性剤をペリセアに置換えるだけで乳化が可能。使用感もベタツキ感が少なく良好である。乳化は安定であるが粘度は下がるので注意が必要。

安定性: 50℃×1ヶ月で安定

処方でのペリセア使用感確認

上記のペリセア乳化処方と、下記のノニオン活性剤を使用した処方との比較で、ペリセアとノニオン活性剤との使用感の違いを実感できます。

| | 原料名 | メーカー | 表示名称 | 配合% |
|----|-------------|---------|-----------------|------|
| A相 | MSG-ASEV | 日光ケミカルズ | ステアリン酸グリセリル(SE) | 0.5 |
| | BC-20 | 日光ケミカルズ | セテスー20 | 1 |
| | HCO-20 | 日光ケミカルズ | PEG-20水添ヒマシ油 | 1 |
| | オリーブスクワラン | 日光ケミカルズ | スクワラン | 5 |
| | NIKKOL CIO | 日光ケミカルズ | エチルヘキサン酸セチル | 6.5 |
| B相 | 化粧品用濃グリセリン | 花王 | グリセリン | 3 |
| | 1,3-BG | 和光純薬 | BG | 2 |
| | 2%カーボポール981 | CBC | カルボマー、水 | 5 |
| | 精製水 | | 水 | 70 |
| | ソルビトール花王 | 花王 | ソルビトール、水 | 1 |
| C相 | 50%水酸化ナトリウム | 和光純薬 | 水酸化Na、水 | 0.08 |
| | 精製水 | | 水 | 4.92 |

調整方法: 上記に同じ。

掲載のデータ・数値は、一定の試験法に基づき当社が得た代表値であり、保証値ではありません。また、これらのデータや数値は、物性の改良のため変更する事もあります。当社では安全データシート(SDS)を作成しておりますので、お取扱前にはご参照ください。

ペリセアをご使用になった製品の安全性及び関連法規への適合性ならびに第三者の有する知的財産権への抵触に関しては、貴社にて調査くださいますようお願い致します。